

9月9日礼拝後、9月誕生記念会を開いた。K姉とS姉が参加された。皆で「Happy Birthday to You」を歌い、茶菓子を戴き、お二人から誕生日を迎えて思う所を話していただいた。新たな発見が多々あり、主にある交わりを深める時となった。最後にS長老の祈りをもって終わることが出来た。今年度の年度目標「主にあって手をつなごう！」をひとつ実行したひとつときであった。



また、この日の礼拝では、試みにスクリーンに讃美歌の歌詞を投影し、メロディーの分かる曲についてはスクリーンで歌詞を確認して賛美を捧げた。顔が上を向くので声が広い会堂一杯に響き、会衆の心が主に向かい、喜び歌っているように感じられた。礼拝の喜びはどこにあるのだろうか？説教、聖餐、派遣と祝福。どれも礼拝の恵みである。そして、賛美である。詩編102:19には後の世代のためにとしてこう記されている。「主を賛美するために民は創造された。」賛美は礼拝において欠くことのできない要素である。そして、「新しい歌を主に向かって歌え」（詩96:1）と、繰り返し「主に向って」賛美する事が勧められている。この試みを充実させていきたい。

また、会堂左側のスピーカーが機能していないことが判明し、別のスピーカーと取り替えた。これまで不便をかけてきたが、これからは会堂後部のスピーカーと2つから音が出るようになった。さらに、アンプの電源を入れると「うなり音」がしたが、これも原因がわかり、クリアーな音が響くようになった。かなりストレスが減ることと思う。

礼拝は信仰者の喜びの源であり、礼拝から信仰生活はスタートする。そのためにいかにしたらより充実した礼拝が捧げられるか？欠かさず礼拝に出席して気づくこと、あるいは礼拝から足が遠のいてしまうことで気づくこともあるかもしれない。10月21日には教会懇談会を開くので、礼拝の刷新と合わせて、いかに伝道するかについても共に分かち合いと思う。是非出席してほしい。